

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 25 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008～2011

課題番号 20243018

研究課題名（和文） 研究開発型企業のライフサイクルとイノベーションに関する定量的・定性的研究

研究課題名（英文） Quantitative and Qualitative Study on the Life Cycle and Innovation of Research-intensive Firms

研究代表者

岡室 博之 (OKAMURO HIROYUKI)

一橋大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号：40251730

研究分野：産業組織論、企業経済学、技術経済学

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：研究開発、イノベーション、新規開業企業、ライフサイクル、産業クラスター、産学官連携

1. 研究計画の概要

本研究は、研究開発型の新規開業企業を主な対象として、その存続・成長・イノベーション等の要因を、研究開発・技術連携等への取り組みと関連づけて、定量的分析と定性的分析を組み合わせる明らかにする。製造業とソフトウェア業における 2007 年以降の新規開業企業（新設法人）の追跡調査を 3 回行ってパネルデータを構築し、計量分析を行うとともに、事例調査によってアンケート調査の結果を補完する。また、政府統計の匿名個票データを入手して、新規開業についての統計的分析を行い、アンケート調査と事例調査に基づく分析を補完する。

2. 研究の進捗状況

新規開業アンケート調査は 2008 年度に 15,000 社以上の新設法人を対象に開始され、2010 年度までに 3 回の継続調査を実施し、約 750 社を対象とする 3 年分のパネルデータセットを構築した。これまでに、主に第 1 回調査のデータを用いていくつかの論文が執筆され、その一部は既に海外の査読制学術誌に受理されている（下記雑誌論文①）。また、調査回答企業数社に対して訪問調査を実施し、その結果を継続アンケート調査の設計に反映させた。

2009 年度に総務省「就業構造基本調査」の 3 期分、延べ約 240 万人分の匿名マイクロデータを入手し、データの整理・集計・分析を進め、それに基づいて、自営業への移行と開業後の所得水準等について 3 つの論文を執筆中である。

2009 年度以降、国内の知的クラスター数カ所（北海道、九州、関西）を訪問し、参加

企業やクラスター事務局（関西のみ）を対象に、研究開発活動と産学官連携、政策利用等について実態調査を行った。2010 年度末にはドイツとフランスのバイオクラスター 3 箇所を訪問し、クラスターの運営と政策利用等について比較調査を行った。

さらに、2008 年度末に経済産業省「産業クラスター計画」参加企業を対象にするアンケート調査を実施した。その分析結果に基づく論文は、既に海外の査読制学術誌に受理されている（下記雑誌論文②）。

また、これまでの研究成果を積極的に国際学会で報告し、オランダ、ベルギー、イタリア、韓国等から関連分野の優れた若手研究者を招聘して、国際的な研究のネットワークを形成している。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

（理由）

新規開業企業への継続アンケート調査は予定通り終了し、調査データに基づく研究成果も順調に現れている。最初の成果論文は関連分野のトップジャーナルに受理された。新規開業企業に対する訪問調査、クラスター参加企業への訪問調査も予定通り進展し、ドイツ・フランスのバイオクラスターを対象とする国際比較調査も行われた。政府統計の匿名個票データを予定通り入手し、その整理と分析を終えて、論文作成を進めている。以上はほぼ当初の予定通りの進捗である。

加えて、本プロジェクトでは経済産業省「産業クラスター計画」への参加企業を対象とするアンケート調査を実施し、分析結果に基づく論文を関連分野のトップジャーナル

に載せることができた。この調査と分析を補完する、国内・海外のクラスター調査もいくつかの興味深い結果を示している。このように、産業クラスター・知的クラスターとイノベーションに関する研究を大いに進めることができたため、現在までの達成度を「当初の計画以上に進展している」と評価する。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度には、継続アンケート調査によって構築されたパネルデータセットを用いて、新規開業企業の存続と成長、イノベーション等について計量分析を進めるとともに、追加的・追跡的な事例調査を行い、成果論文を取りまとめる。また、本研究のデータセットを（株）帝国データバンクや（株）東京商工リサーチの企業情報とマッチングし、さらに文部科学省科学技術政策研究所の「全国イノベーション実態調査」の個票データとマッチングして、取引関係の発展やイノベーションに関するより高度な分析を行う。また、匿名マイクロデータに基づく論文を完成させる。さらに企業の事例調査を進めてアンケート調査結果を補完する知見を得るとともに、欧州クラスター調査などの結果に基づいて、クラスターの運営や政策の効果等について定性的な比較分析を行う。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計63件）

- ①Okamuro, H., Masatoshi, K. and Honjo, Y., Determinants of R&D cooperation in Japanese start-ups, Research Policy (in press), 2011, 査読有り。
- ②Nishimura, J. and Okamuro, H., Subsidy and networking: the effects of direct and indirect support programs in the cluster policy, Research Policy (in press), 2011, 査読有り。
- ③Ikeuchi, K. and Okamuro, H., Effects of regional human capital structure on business entry: a comparison of independent start-ups and new subsidiaries in different industries, Frontiers in European Entrepreneurship Research 23, 146-182, 2011, 査読有り。
- ④Nishimura, J. and Okamuro, H., R&D efficiency and the organization of cluster policy: An empirical evaluation of the Industrial Cluster Project in Japan, Journal of Technology Transfer 36, 117-144, 2011, 査読有り。

〔学会発表〕（計66件）

- ①Okamuro, H., “R&D financing of start-up firms: How much does founder’s human capital matter?”, Interdisciplinary European Conference on Entrepreneurship Research (IECER), 2011年2月17日、ミュンヘン（ドイツ）。
- ②Okamuro, H., “Subsidy and networking: the effects of direct and indirect support programs in the cluster policy”, EARIE (European Association on the Research in Industrial Economics) Annual Conference, 2010年9月3日、イスタンブール（トルコ）。
- ③Okamuro, H., “Determinants of regional start-up ratio: Independent startups vs. new subsidiaries in different industries”, RENT (Research in Entrepreneurship and Small Business) XXIII. Conference, 2009年11月20日、ブダペスト（ハンガリー）。
- ④Okamuro, H., “Determinants of research partnership formation by Japanese high-tech start-ups”, CAED (Comparative Analysis of Enterprise Data) Annual Conference, 2009年10月2日、東京。
- ⑤Okamuro, H., “Has the Industrial Cluster Project improved the R&D efficiency of industry-university partnership in Japan?”, DRUID (Danish Research Unit for Industrial Dynamics) Summer Conference, 2009年6月19日、コペンハーゲン（デンマーク）。

〔図書〕（計26件）

- ①三井逸友『中小企業政策と「中小企業憲章」日欧比較の21世紀』花伝社、2011年、418頁。
- ②本庄裕司『アントレプレナーシップの経済学』同友館、2010年、207頁。
- ③岡室博之『技術連携の経済分析 中小企業の企業間共同研究開発と産学官連携』同友館、2009年、356頁。

〔その他〕

プロジェクトホームページ：

<http://www.econ.hit-u.ac.jp/~hokamuro/index.html>

一橋大学情報リポジトリ：

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/ir/index.html>